

議会だより



小型ポンプ操法の部にて見事優勝!!

第67回茨城県消防ポンプ操法大会
県央地区大会において城里町消防団
第5分団(上下青山・勝見沢地区)が、
5年ぶりに見事優勝に輝きました。
また、選手全員が優秀選手に選ばれ
るなど消火操作の速さ正確さが評価
されました。

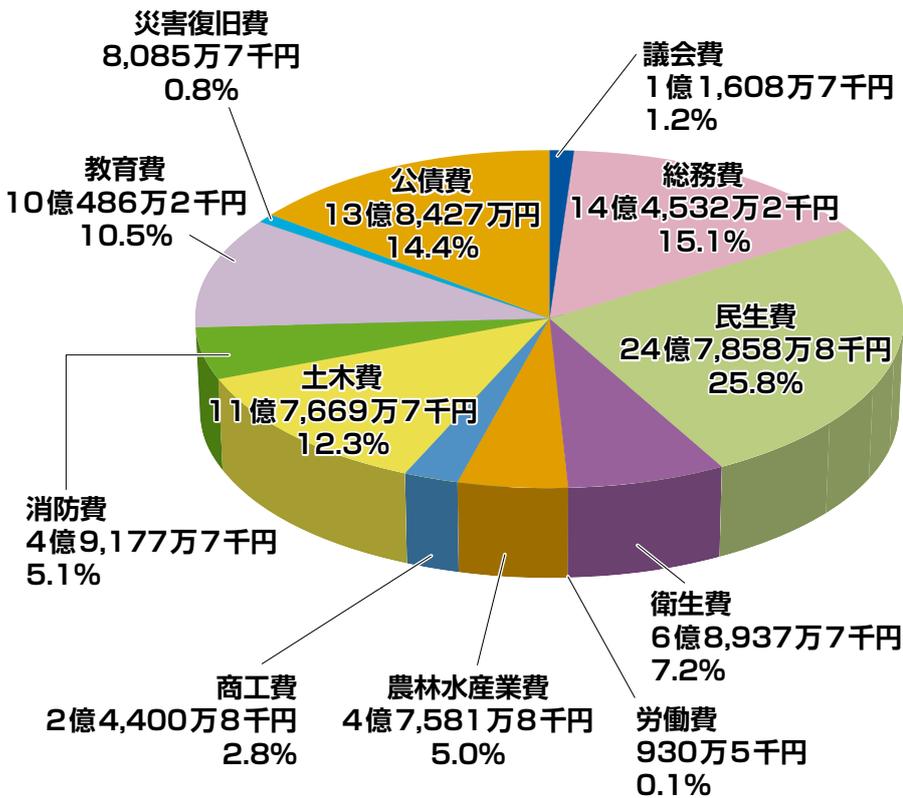
平成27年度決算

一般会計の使いみち……………	2
監査委員決算審査報告……………	5
決算特別委員会報告……………	6
9月定例会で決まったこと……………	8
一般質問 町政を問う……………	11
研修報告……………	17
追跡調査・編集後記……………	18

会計の使いみち

歳出総額

95億9,696万8千円



第3回 定例会

第3回定例会は、9月6日から16日の11日間の会期で開催し、上遠野町長から提出された、条例改正6件・契約の締結1件・補正予算6件・決算認定7件・人事案件1件が上程されました。上程された議案のうち、決算認定については、決算特別委員会へ付託し、常任委員会ごとに所管分を審議しました。また、請願2件、報告13件がありました。

基金残高 **53億7,478万円6千円**
町民一人あたり 約260,735円

町債残高 **104億9,189万円**
町民一人あたり 約508,969円

※基金…町が将来のために備えたり、定額の資金を運用するために設けられる資金で、町の積立預金のことをいいます。

※町債…町が事業を行うために資金を調達する一つの手段で、町の借金のことをいいます。

町の人口 20,614人 (平成28年3月31日現在)

平成27年度決算 一般

一般会計

歳入（町に入ったお金）	103億8,915万5千円
歳出（町で使ったお金）	95億9,696万8千円
歳入歳出差引額	7億9,218万7千円

主に、次のような事業に使われました。

※1万円未満切り捨て。

事業名		金額
総務費	旧北方小学校水泳施設解体及び場内施設整備工事	4,058万円
	城里町庁舎建設工事監理業務委託	1,557万円
	スタジイ広場遊具設置工事	1,065万円
民生費	臨時福祉給付金支給事業	3,074万円
	老人保護措置事業	3,514万円
	障害福祉サービス費	3億2,641万円
	後期高齢者医療給付費事業	2億1,232万円
	安心子ども支援事業 ※民間保育所改築補助	1億5,813万円
衛生費	各種予防接種事業委託	3,224万円
	ソーラーLED街路灯設置工事	3,319万円
農林水産業費	生産調整対策補助	5,064万円
商工費	ふるさと応援寄付金事業	1,078万円
	ふれあいの里8人用キャビン1棟及び浄化槽改修工事【繰越】	3,678万円
土木費	町道維持補修工事	4,946万円
	町道真端線道路改良工事【繰越】	1,391万円
	大桂大橋耐震補強工事【繰越】	4,372万円
	町営住宅修繕業務委託	869万円
消防費	消防事務負担金	3億6,423万円
	県消防救急無線・指令センター整備費負担金	3,196万円
	小型動力ポンプ付積載消防車購入 ※3台	1,652万円
教育費	A L T（外国語指導助手）設置事業	1,189万円
	桂中学校屋内運動場改築工事実施設計業務	3,348万円
災害復旧費	新道川河川災害復旧工事【繰越】	658万円

平成27年度特別会計決算

特別会計及び企業会計の決算は以下のとおりです。

会計名		歳入総額	歳出総額	差引額
国保	事業勘定	29億1,808万円	29億479万6千円	1,328万4千円
	施設勘定	2億3,932万2千円	2億3,702万円	230万2千円
後期高齢者医療		1億7,983万4千円	1億7,974万2千円	9万2千円
介護	保険事業	19億4,931万1千円	19億2,334万2千円	2,596万9千円
	サービス事業	560万3千円	502万2千円	58万1千円
公共下水道事業		15億2,077万4千円	15億357万2千円	1,720万2千円
農業集落排水事業		2億9,560万9千円	2億9,012万3千円	548万6千円
水道	収益的収入・支出	7億6,939万4千円	6億6,291万3千円	7,130万7千円
	資本的収入・支出	3億5,340万3千円	6億3,537万3千円	△2億8,197万円

※水道事業会計の不足額は消費税、消費税資本的収支調整額及び過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

用語説明 (国保事業勘定) 主に保険給付金等の事業費 (国保施設勘定) 診療所運営の事業費
 (介護保険事業) 主に介護保険給付金等の事業費 (介護サービス事業) 要支援者ケアプラン作成事業費
 (水道事業収益的収入・支出) 汚れた水を適切に処理するための経費とその財源です。
 (水道事業資本的収入・支出) 施設を建設・整備するための経費とその財源です。
 (損益勘定留保資金) 減価償却費や固定資産除却費のように、費用ではあるが現金支出を伴わない、会計上内部に留保されている資金。

近隣市町との比較

数字で比べてもかなり厳しい!! 今後の財政はどうなる?

決算見込みを的確に把握して、予算編成及び予算補正を適切に行うなど、限られた財源の効率的な運用を図るよう努めることが大事である。

	財政力指数 (平成27年度決算実績)	経常収支比率 (%) (平成26年度決算実績)	実質公債費比率 (%) (平成26年度決算実績)
城 里 町	0.374	85.4	12.8
茨 城 町	0.557	84.8	9.0
大 洗 町	0.728	92.9	5.0
大 子 町	0.318	84.4	6.4
常陸大宮市	0.440	84.5	9.9

※「茨城県市町村概況(平成28年度版)」より抜粋

実質公債費比率

率が高いほど財政運営が硬直化していることを示しており、18%以上の団体は地方債の発行に際し許可が必要となり、公債費負担適正化計画を策定し、財政の健全化を図る必要がある。さらに、25%以上の団体は一定の地方債の発行が制限される。

財政比率

	平成27年度	平成26年度	平成25年度
財政力指数	0.374	0.375	0.376
経常収支比率(%)	85.9	85.4	85.8
地方債現在高	104億9,189万円	110億1,972万円	106億3,642万円

財政力指数……「1」に近いほどよく、「1」を超えるほど財源に余裕があることを示す。

経常収支比率……おおむね70%から80%が標準とされる。

監査委員決算審査報告

8月1日(月)から4日(木)にわたり、平成27年度一般会計と特別会計決算・企業会計決算と事業実施状況について審査を行い、その結果、次の意見を付しての報告がありました。

監査委員 加藤木 昭 博
監査委員 藺 部 一

- 未収金対策も毎年申し上げているところではあるが、引き続き各課との連携を密にし、滞納者には早期に対応し、悪質な滞納者には、「滞納は絶対に許さない」という毅然とした態度で臨み、法的措置を講ずるなど、さらに実効性のある収納対策を図り、滞納の解消、収納率の向上に引き続き努められたい。
- 各事業の予算については、財源確保の厳しい中、予算付けされたものであり、今後とも常に業務の執行状況、さらには決算見込みを的確に把握して、予算補正を適切に行うなど、限られた財源の効率的な運用を図り、弾力性のある行政運営を望むものである。
- 公営企業会計は独立採算性が原則であり、収入未済額の増加は経営圧迫の要因にもなる。水道事業会計においても、収入未済額の解消に更に全力で対処するとともに、年間給水量及び年間有収量を的確に把握し、供給単価を考慮し販売損失の抑制に努め、独立採算制を基本とした適正な水道料金体系による健全な企業経営に努められたい。
- 地方財政にとってはまだまだ厳しい状況が続くことが予想されるので、真の住民サービスとは何かを常に念頭に置き、住民が安心して生活できる生活環境を望むものである。

決算特別委員会での主な 質疑・答弁

第3回定例会初日の9月6日、町長から提案された平成27年度城里町決算（7会計）について詳細に審査するため決算特別委員会が設置されました。

決算審査は各議員が広く審議を行うことができるよう、常任委員会ごとの分科会方式により所管分の審査を行いました。各委員会での質疑・答弁等の主なものは次のとおりです。



総務民生常任委員会の審議状況

総務民生常任委員会

総務民生常任委員会は、会期中の9月7日に委員会を開催し、平成27年度一般会計決算の所管分・国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険特別会計の決算について審査しました。

（一般会計所管分）

歳入

問 繰越額の増また、歳出の不用額が多い理由は、

答 例年行っていた最終専決での不用額の減額補正を行わなかったため、繰越額が増となりました。

年徴収実績に対して支払っており、効果は上がっております。

問 プレミアム商品券販売

方法の改善点はあったか。

答 昨年までの販売方法を見直し、今年は予約制での販売として商工会と協議しています。

会小学校、七会公民館の十一箇所です。自治会のLED防犯灯設置は本年12月までに設置を予定しています。

問 ホロルの湯工事請負費（修繕費）の内容は。

答 設備の老朽化に伴うポンプ類、浴室、厨房機器・浄化槽等の補修です。

歳出

問 総合計画の業務委託を

しているが、町民の意見は反映されているのか。

答 総合計画審議会で見解を集約し、反映させています。

問 ホロルの湯特別優待券を配布しているが入場者数は増えているのか。

答 約七千人増となっており、食堂の売り上げも上がっています。

問 茨城県消防救急無線・指令センター整備負担金減とは。

答 県消防指令センター整備費確定による負担金の減です。

問 茨城租税債権管理機構負担金を支払っているがその効果はあるのか。

答 均等割、前々

問 ソーラーLED街路灯の設置場所と各自治会への設置完了の時期は。

答 指定避難所の石塚小学校、常北小学校、旧小松小学校、コミュニティセンター・城里、ホロルの湯、沢山小学校、桂支所、桂公民館、七会支所、七

問 水防費船舶免許の補助人数は。

答 常北地区で一名です。
問 土砂災害ハザードマップの配布時期は。
答 十一月頃作成、配布はその後になる予定です。

(国民健康保険特別会計)

問 診療所医薬品の在庫はどのくらいあるのか。

答 おおよそ一千万円分です。年度末に在庫管理を行っています。

問 医師の研究研修費とは何か。

答 年に3回程度開催される医師の学会参加旅費です。昨年度は、「日本血液学会学術集会」「全国国保地域医療学会」に出席しています。また、学術書の購入をしています。

(介護保険特別会計)

問 人件費減による支障はないのか。

答 職員数減のため支障はありません。

教育産業常任委員会

教育産業常任委員会は、会期中の9月9日に委員会を開催し、平成27年度一般会計決算の所管分・公共下水道事業・農業集落排水事業・水道事業会計の決算について審査しました。

歳入

(一般会計所管分)

問 町営住宅の家賃滞納状況は。

答 滞納整理業務を県住宅管理センターへ委託し、昨年度より滞納額は減となっています。

問 未収金徴収の対応について。

答 各課単独で職員が未収金の徴収を行っています。

歳出

問 食と農のチャレンジ事業とは。

答 常陸大黒(黒豆)生産に伴う資材費に対する補助を行い生産性の向上を図り、加工品の開発

を実施しました。

問 適応指導事業について。

答 心理的要因等で学校に登校できない児童生徒に学校復帰のための適応指導を行っています。

問 ALT(外国語指導補助)の契約状況は。

答 町独自で非常勤外国人講師4名を採用し、幼稚園・小中学校で外国の文化や語学向上に努めています。

問 ふれあいの船事業補助財源の基金があと3年くらいしかないが運営出来るのか。

答 今後も実施する予定で考えています。

江戸川フィルハーモニーオーケストラの演奏会を開催しました。

(公共下水道事業特別会計)

問 下坏地区管渠布設替工事とは。

答 東日本大震災の影響により管渠に歪みがありマンホールに汚水の滞留があるため管の布設替工事を行いました。

(水道事業会計)

問 水道料金の引き下げの努力は。

答 施設の維持管理費も増加傾向にあり会計上難しく、現在の使用料金で維持ができるよう努力しています。

石塚浄水場について。

問 石塚浄水場は稼働から48年が経過し、施設の見直し等を含め検討しています。

問 コミュニティセンター城里自主事業委託について。

答 毎年開催している芸能コンサート等。今年度は



教育産業常任委員会の審議状況

9月定例会で 決まったこと

条例改正

可決

▽城里町使用料及び手数料
条例の一部を改正する条

例

町条例の一部を改正

(ホロルの湯グラウンド
ゴルフコースの整備に伴
いコース使用料を定める
もの)

▽城里町医療福祉費支給に
関する条例の一部を改正
する条例

町条例の一部を改正

(妊産婦及び小児の所得
要件緩和に伴うもの)

▽城里町放課後児童健全育
成事業の設備及び運営に
関する基準を定める条例
の一部を改正する条例

町条例の一部を改正

(学校教育法で定める学
校の名称に「義務教育学
校」を追加するもの)

▽城里町健康増進施設の設
置及び管理に関する条例
の一部を改正する条例

町条例の一部を改正

(グラウンドゴルフコー
スの整備に伴うもの)

▽城里町特定公共賃貸住宅
管理条例の一部を改正す
る条例

町条例の一部を改正

(入居者を確保出来ない
とき、規則に基づく資格
を持たない者に対して一
時的な入居を許可出来る
ようにするもの)

▽城里町公共下水道供用開
始区域拡大に伴う関係条
例の整理に関する条例

町条例の一部を改正

(高根地区において公共下
水道が整備されたことによ
り受益者負担金及び使用料
の賦課徴収を行うもの)

契約の締結

可決

▽平成28年度城里町国民健
康保険七会診療所改築工

事の契約

契約金額

2億3,392万8千円

契約の相手方

水戸市けやき台2丁目
13番2

コスモ総合建設株式会社
代表取締役 池田勇夫
城里町塩子671番地
有限会社大座畑建設
代表取締役 大座畑一枝

契約の方法

一般競争入札

賛成討論

藤咲 芙美子 議員

七会診療所の建て替え問題は、長年立地条件などで先送りになっていた。私は、これまで建て替えについて一般質問で要望すると同時に七会保健福祉センター敷地内に建設できるよう尽力してきた。このたび建設の運びになったことを歓迎したい。しかし、懸念事項が2点ある。1つは有床でないこと。どんな症状の患者であっても診療所には

泊まることはできない。2つ目は、工事の落札率が98・98%という異常な高さであること。通常、95%超だと談合の疑いがあるといわれる。町民の血税がそのように使われているのか、私が疑念を抱く。これを今後の町政に生かしてほしい。

補正予算

可決

▽平成28年度城里町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

追加補正額

483万円

予算総額

29億7,696万4千円

▽平成28年度城里町介護保険特別会計補正予算(第1号)

追加補正額

2,187万円

予算総額

19億3,056万1千円

▽平成28年度城里町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

追加補正額

344万円

予算総額

10億77万9千円

▽平成28年度城里町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)

追加補正額

8万8千円

予算総額

2億8,145万2千円

▽平成28年度城里町水道事業会計補正予算(第2号)

追加補正額

2,620万円

資本的支出予定額

6億5,718万1千円

▽平成28年度城里町一般会計補正予算(第2号)

追加補正額

1億6,915万1千円

予算総額

99億8,066万3千円

執行部から当初上程されます。

反対討論

関 誠一郎 議員

議案第70号一般会計補正予算について
文化財保護費について
要点を申し上げます。

1. 調査測量費が高額である事。
2. 黒澤止幾生家として

価値は有るのか。黒沢止幾の生涯が大事であり、生家立て替えに4,000万円程かかり町民に理解が得られるか。

3. 補正予算に新規事業を盛り込むことが理解出来ない。

以上の点より反対いたします。

賛成討論

南條 治 議員

賛成の立場から討論致します。

只今、反対討論をしました関誠一郎さんは、ニユーモラルの会長で会長を務めていましたので、『黒澤止幾の生家と本人』

これが『一体性のあるものである』と、そういったことも、もう既にご承知であると思います。

私は近くにいたる関係上、いろいろな方々が視察研修に来ているのも事実であります。ここで、『きちんとあの建屋を残す』そういう設計をしていく。これが町としての文化財に対しての方向性だと考えています。どうぞ皆様方のご賛同よろしくお願ひします。

決算認定

認定

▽平成27年度城里町一般会計決算認定

▽平成27年度城里町国民健康保険特別会計決算認定
▽平成27年度城里町後期高齢者医療特別会計決算認定

▽平成27年度城里町介護保険特別会計決算認定

▽平成27年度城里町公共下水道事業特別会計決算認定

▽平成27年度城里町農業集落排水事業特別会計決算認定

▽平成27年度城里町水道事業会計決算認定
決算特別委員会を設置付託し、常任委員会ごとに所管分を審議した結果、認定しました。



人事案件

可決

▽人権擁護委員の推薦

次の方の推薦に同意しました。

飯田紀代子氏（石塚）

久保田殿司氏（上青山）

松崎 忍氏（増井）

※任期…委嘱された日から3年間

請願

採択

▽地域と住民の安全確保を

強めるために、日本原子力発電（株）が『原子力安全協定』を見直すよう

求める行動を要請する意見書採択に関する請願

▽教育予算の拡充を求める請願

意見書

可決

▽地域と住民の安全確保を

強めるために、日本原子力発電（株）が『原子力安全協定』を見直すよう

求める行動を要請する意見書

茨城県知事、東海村長（原子力所在地域首長懇談会座長）、水戸市長（東海第二発電所安全対策首長会議座長）へ意見書を提出しました。

▽教育予算の拡充を求める意見書

内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、内閣官房庁長官へ意見書を提出しました。



議会事務局職員の変動

平成28年8月1日付けで、総務課から市村真紀書記が配属となりました。

第2回臨時会で決まったこと

第2回臨時会が

9月20日に招集されました。第3回定例会で否決された一般会計補正予算について審議し、原案のとおり可決しました。

補正予算

可決

▽平成28年度城里町一般会計補正予算（第3号）

追加補正額

1億6,799万7千円

予算総額

99億7,950万9千円

第3回定例会で否決された補正予算からさらに教育費（黒澤止幾生家調査測量設計委託料等115万4千円）を減額されたものについて可決しました。

議会を傍聴しましょう！

次回の定例会は12月6日を予定しております

傍聴者報告

第3回定例会

（9月6日～16日まで開催） 27人

第2回臨時会

（9月20日） 3人



車いすでの傍聴も出来ます。

日程など詳しいことは議会事務局またはホームページでご確認ください。

TEL. 029-288-3111（内線302） <http://www.town.shirosato.lg.jp>

審議した議案と各議員の賛否

第3回定例会・第2回臨時会の議案等の表決を、賛成は○、反対を×、欠席は-で表示してあります。採決に加われなかった議員は斜線で表示してあります。

議案名	藤咲美子	片岡藏之	菌部一	三村孝信	河原井大介	関誠一郎	阿久津則男	桐原健一	小林祥宏	南條治	杉山清	小松崎三夫	鯉淵秀雄	根本正典	小坪孝
城里町使用料及び手数料条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	議長のため採決に加わっていない	○	○	○	○	○	○
城里町医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
城里町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
城里町健康増進施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
城里町特定公共賃貸住宅管理条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
城里町公共下水道供用開始区域拡大に伴う関係条例の整理に関する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
平成28年度城里町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
平成28年度城里町介護保険特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
平成28年度城里町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
平成28年度城里町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
平成28年度城里町水道事業会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
平成27年度城里町一般会計決算認定について	×	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
平成27年度城里町国民健康保険特別会計決算認定について	×	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
平成27年度城里町後期高齢者医療特別会計決算認定について	×	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
平成27年度城里町介護保険特別会計決算認定について	×	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
平成27年度城里町公共下水道事業特別会計決算認定について	×	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
平成27年度城里町農業集落排水事業特別会計決算認定について	×	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
平成27年度城里町水道事業会計決算認定について	×	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
人権擁護委員の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
平成28年度城里町一般会計補正予算(第2号)について	×	○	×	×	○	×	×	×	○	○	×	○	×	○	

第2回臨時会

平成28年度城里町一般会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	○	○
----------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

一般質問

町政を問う

今回4名が質問し、
その要約を掲載しました。

片岡 藏之 議員 …………… P 13

- ・ 災害発生時の対応
- ・ 発生危険箇所の把握は
- ・ 町の活性化は

藤咲 芙美子 議員 …………… P 14

- ・ 防災行政無線の戸別受信機の設置について
- ・ 交通安全対策について
- ・ 太陽光発電について
- ・ 認定こども園について

南條 治 議員 …………… P 15

- ・ 町所有の公用バスは
- ・ 山桜について
- ・ 今回の台風被害状況は

河原井 大介 議員 …………… P 16

- ・ リーサスについて
- ・ 防災について
- ・ 図書館について
- ・ 青少年育成（スポーツへの支援）について

〈お詫びと訂正〉

議会だより47号で誤りがありました。
お詫びして訂正いたします。

表紙 誤：七会保育園 正：ななかい保育所
P 5 誤：老人世帯の安全確認の拡大を書籍
正：老人世帯の安全確認の拡大を



片岡 蔵之 議員

災害発生時の対応は

《町長》 班に分かれ災害対応に当たる。

片岡 9月は色々
と防災を考える月と
いうことで防災に関
連した質問を行いた
いと思う。地震につ
いて本町の対応は。

町長 本町におい
ては対策本部に総括
班、調達班、避難誘導
班、応急復旧班、給
水班、文教班、支所班、
消防班に分かれ災害
対応に当たる。本年よ
り台風災害に関
関しタイムラ
インの計画を
作成し、事前
に職員の訓練
を行なって台
風に対応して
いる。

片岡 本町
では那珂川の
支流が多いが
その河川の対
応は。

町長 那珂
川に注ぐ小河
川において河
川の流下能力
を高めるため

災害警戒・対策本部の組織

【本部会議】	
本部長	町長
副本部長	副町長、教育長、消防団長
本部員	各課長、各局長



【各班】	
総括班（総務課長）	まちづくり戦略課、総務課、議会事務局
調達班（財務課長）	財務課、会計課
避難誘導班（福祉こども課長）	町民課、税務課、長寿応援課、福祉こども課
医療救護班（健康保険課長）	健康保険課
応急復旧班（都市建設課長）	まちづくり戦略課、都市建設課、下水道課、町民課、農業政策課
給水班（水道課長）	水道課
文教班（教育委員会事務局長）	教育委員会事務局
支所班（各支所長）	桂支所、七会支所
消防班（消防団長）	消防団

※（ ）内の者は班長となるものを示す。



土砂の滞留した河川

の土砂さらい、河川
の整備が大切でその
必要な箇所は県に
対し要望している。

片岡 本町では各
自治会等の集会施設
に避難所の看板を出
して指定しているが、
各施設とも一時的に
は集まれるが、機能
面では難しいと思わ
れるが。

町長 短期的な避
難であっても、トイ
レ等の問題は重要な
問題と認識している。
集会所のトイレ改修
等などは町地区集會
施設補助金にて整備
費の3分の1の補助
を行っている。又、
発電機を購入したい
のであれば、町自主
防災組織活動育成事
業費補助金において

2分の1の助成をお
こなっている。

片岡 私が以前一
般質問において原発
災害時の避難路はま
だ決まっておりませ
ん。県の方向性を考
慮してからの答弁
をいただきましたが、
その後をお伺いする。

町長 町において
は、栃木県に避難す
ると県の作成した原
子力災害に備えた茨
城県広域避難計画に
より指定されている。
今年度中に栃木県の
各自治体と避難受け

入れに向けての要請
作業を進めている計
画である。又、東京
都江戸川区と災害協
定を結んでおります
ので受け入れの要請
も考えられる。

片岡 栃木県への
避難ということでは
道はいかがか。123
号線はどうなるか分
からない中、塩子を
通る水戸・茂木線こ
の1本では不安では
ないか。既存の町道
の拡幅、整備等で災
害時に十分活用でき
るのでは。

町長 地域の
活性化の観点か
ら道路整備は
重要と考えてお
り、地域の意見
等を伺って順次
行ってまいりた
い。

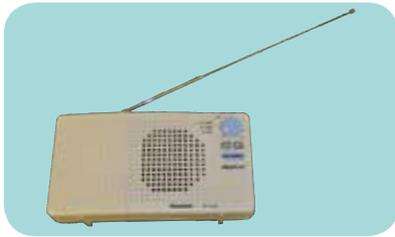
《その他の質問》
・ 発生危険箇所
の把握は
・ 町の活性化は

防災行政無線の戸別受信機の設置について



藤咲 芙美子 議員

《町長》 メーカーで製造中止のため販売できない。



桂地区の戸別受信機

藤咲 防災行政無線が聞こえるかどうかは命にかかわる問題だ。総務省のホームページでは防災行政無線の戸別受信機の整備が特別交付税措置による財源措置の拡充に言及している。この機会に戸別受信機をぜひ検討してほしい。

町長 戸別受信機は常北地区の希望者に有料で配布していたが、メーカーで対応機種の製造販売を中止した。常北地区は購入できない。

藤咲 総務省の政策はどのように検討したのか。

町長 他の経験によると震災にラジオが非常に有効だった。ラジオだと大きな費用もかからない。

太陽光発電について

《町長》

県のガイドラインに沿ってチェックしていく。

藤咲

当町でも太陽光発電パネルを散見する。私は再生可能な自然エネルギーを利用の発電には賛成だ。しかし、このまま太陽光パネルが無秩序に増えて、森林伐採による土砂災害の危険が増えていく。

交通安全対策について

《町長》

適切な対策とついでいく。

藤咲

最近、大型車の交通量が多くなり町民の安全が脅かされていると聞く。私が注意して見た限り増井、磯野、勝見沢地区の通学道路、生活道路にダンプが進出し交通量が多い。町民、通行人の安全

を確保する方策を町はとって欲しい。

町長

笠間警察署に交通規制の要望を出しており、本年8月26日に区間の交通規制が実現した。今後危険箇所をパトロールし適切な対策とついでいく。



太陽光パネル

認定こども園について

《町長》

親の就業形態が変わっても通い慣れた園で過ごせる。

藤咲

来年度から常北幼稚園が認定こども園となるが、認定こども園ではオプションとして特色を出す。その際子どもに格差や差別感を根づかせるようなことがあってはならない。とくに、食育ことは人間の生育の基本。新制度では外部からの弁当も可能とされているが、好ましいとは思わない。

町長

今までは親の就業の有無により保育園、幼稚園に分かれていた。親の就業形態が変わっても通い慣れた園で過ごすことができるようになる。



南條 治 議員

町所有の公用バス利用状況は

《町長》平成27年度127回の運行中92回が学校行事等。

南條 学校関係の利用が多いが、その他の利用について問い合わせは。

町長 PTA、高齢者クラブの問合せがある。27年度127回の運行中92回が学校行事、学校以外35回で保育園、各種団体競技会の参加会議等職員随行、添乗の町事業。現在の規則では町の事業として行うもの、学校が行うものに限られる。団体だけの利用は貸せない運用(町のバス)になっている。一方、町バスを社会福祉協議会に譲渡すれば、社会福祉協議関係団体で使うことができる。(町職員随行なし)

南條 車輛点検等どのようなに行っているのか。

財務課長 運行前点検実施の義務付け、日常点検表と運転日

報、運転記録、運行表の提出。バスメーカー指定の町内指定工場で法廷3カ月点検を実施。

南條 桂支所駐車中(仮称原子力)バスについて利用制限はしているのか。

町長 原子力防災用機材避難用バスとして県から借りているもの。利用制限は目的外使用を制限するものではないが避難用。短時間で戻る利用であれば町の行事で使う。

南條 七会診療所車庫の患者送迎用車輛は、現在どのような状況なのか。

町長 現在使われていない。今年度で使用制限が切れる。整備をした上で社会福祉協議会の方へ所管を移す。高年者クラブ等の行事にも使える様対応したい。負担額一日当たり基

本(運転手経費15,660円)



県から貸与されている避難用バス

山桜について裁判の成り行きは

《町長》平行線の状態で裁判は続いている。

南條 町長は社長として原告の責任を果たすべきと思うが。

町長 裁判の現状、被告側は「一切山桜の金を外部に流出したことはない。」「仕

入れに使ったが、記帳を間違えただけ。」と主張。現在、町側の主張とは平行線の状態で裁判は続いている。

今回の台風被害状況は

《町長》倒木等70カ所。停電1700世帯余。

南條 各部署においてパトロールはしたのか。

町長 町ではその都度災害警戒本部を設置。パトロール隊を11班編成巡回。都市建設課・農業政策課・下水道課・水道課の巡回。倒木等70カ所。順次停電1700世帯余。その次の日までに復旧を指示。作業を終える等の対応。

南條 農地の土砂流出があるようだが。
農業政策課長 農業政策課、都市建設課該当6カ所。今後その地区を重点的に点検。トラクター等土砂排出の注意周知をしていきたい。

リーサス (地域経済分析システム) について



かわらい だいすけ 議員
河原井 大介

〈町長〉昨年度、人口ビジョンと総合戦略策定に活用した。

河原井 地方創生の情報支援として平成27年4月から運用開始されている地域経済分析システム、通称リーサスのビックデータを町としてはどのように活用しているのか。

町長 昨年度、企画財政課（現まちづくり戦略課）企画調整グループでリーサスを活用し、人口ビジョンと総合戦略策定に活用した。

河原井 リーサス・システムを広く利用、住民参加型の地域活性化を模索するためワークショップ等を開催しては。住民に対して活用してもらうため、総合的な見解を伺いたい。

町長 システムはインターネットで誰でも見られる状態である。ただし、リーサスに載せるべきデ

ータを整備する事が町の現課題になっている。また、リーサスを使わずに得られる、より身近な情報もしっかりと生かしたい。

河原井 城里町に関する国のデータを調べると、高取鉱山に金が眠っているという資料がある。まちづくり活性に必要な情報を素早く取り入れ、政策に役立てる地域戦略室的な部署が必要ではないか。

町長 現在、まちづくり戦略課内において総合的な町の方向性や戦略を進めているが、取りかかっている事業が沢山あり、新規事業まで手がけて行くことが難しい状況。今後は、現在の事業が終わり次第、次の事業を手がけてまいりたい。

防災について

《町長》
江戸川区からの職員派遣は大きなメリットである。

河原井 防災について、江戸川区とどういう協力体制を結んでいるのか。

町長 様々な支援項目があるが、応急復旧対策に必要な江戸川区からの職員派遣は城里町としては

大きなメリットである。

河原井 江戸川区へ支援する場合の対応は。

町長 特に救護が必要な人々をある程度受け入れることを想定している。

図書館について

《町長》
陳列や展示の方法についても改善していく。

河原井 図書館利用について。DVDの拡充等、利用者の要望を取り入れた図書館づくりを進めてはどうか。

町長 コミュニティセンターの図書室に視聴覚資料が全く無いので、新設したい陳列や展示の方法についても改善していく。

青少年育成(スポーツへの支援)について

《町長》
保護者負担軽減に向けて補助等検討したい。

河原井 町の青少年育成スポーツ事業について、特に中学校の部活動等を支える保護者の方の負担等について、町として現場でどういう課題があるのかを再確認し、子ども達のスポーツ活動を支援する仕組みを整える必要があると思うが、町としての考えは。

町長 保護者の負担が重くなっている現状で、来年度予算の中で、負担軽減に向けて、一定の補助等の実施を検討したい。

研修報告 議会広報委員会

群馬県玉村町議会広報特別委員会・
群馬県八ツ場ダム工事事務所を視察研修

去る7月21日(木)、22日(金)広報委員会は、第29回町村議会広報全国コンクール編集・デザイン部門において奨励賞を受賞した、群馬県佐波郡玉村町議会を視察研修をしてまいりました。

玉村町議会



玉村町・研修の様子

編集体制

◆委員数 6名

◆任期 2年

◆開催回数

1回の発行につき4回程度

発行状況

◆名称 たまむら「議会だより」

◆創刊 平成10年5月1日

◆発行回数 定例会ごとに年4回

◆発行部数 13,300部

◆配布対象 町内全戸・近隣自治体・官公庁等

◆発行経費 3,140,000円
(平成28年度予算)



議会だより

発行までの手順

- ①第1回委員会
定例会告示日(7日前)編集方針の決定、記載記事、ページ数、執筆担当者、原稿締切日・次回編集委員会開催日調整
- ②第2回委員会、第1回目校正
(前回未提出分を入稿)
- ③第3回委員会 第2回目校正
- ④再々校正 正副委員長・事務局

八ツ場ダム工事事務所

八ツ場ダム諸元
型式 重力式コンクリートダム
堤高 116m
堤長 約90万m
総貯水槽 1億750万m³
流域面積 711.4km²



八ツ場ダム見学風景

今回、玉村町議会広報特別委員会を視察研修し、読んでもらえる広報誌を第一に議会の活動内容を町民が分かりやすく読みやすい文面に纏められた印象が強く感じられました。編集方法では、記事の校正やデザイン並びに写真を多く取り入れ文字のみにならないよう表現するなど編集内容の説明受け表紙の写真には、毎号、町内の名所等を採用し、親しみやすさが感じられ、担当委員の取材記事「みんなの広場」では、各地区の催物や趣味のクラブ活動を直接取材に向き身近な話題として紹介するコーナーを設け読者に興味を持ってもらえる記事が掲載されております。国土交通省関東地方整備局八ツ場ダム工事事務所は、工事の進捗状況に安全性が確保され、従来までの見学方法を見直し、一般者向け見学会が開催されています。今しか見られないダム工事を観光資源と捉え、道の駅八ツ場ふるさと館等と併せた観光振興への転換を目指し周辺道路も整備され、地域活性化のための事業にも取り組んでいる状況でした。最後に、既に地元の住民も代替地において新たな生活を送られていましたが、水没する住宅跡地等を見学し地元住民の苦渋の決断の上にあるものと痛感しました。



どうなった？一般質問のその後

過去に議員が行った一般質問が、その後、町政にどう活かされたのか追跡調査をした。

通学路の整備について

(平成27年12月)

質問

常北中学校への通学路である青山地内の約800mの整備に向け現在の進捗状況は

環境センターについて

(平成28年3月)

建設から32年が経過、耐用年数とその状況は

速やかに整備を進めていく

地権者から計画の了解を得て速やかに整備していく

答弁

施設整備検討委員会を設置

来年度検討委員会を設置し検討していく

現在の状況は、こうなっています

地権者との合意の上、整備を進める

路線測量並びに設計業務は完了。事業の進捗に併せ、今後も地元説明会を開催し地権者からの合意を得て速やかに整備を進めていきたい。



検討委員会を開催し協議開始

平成28年7月27日に第1回一般廃棄物処理施設整備検討委員会を立ち上げ、今年9月30日に第2回委員会で協議をしている。



編集後記

今年はこの地でも台風の直撃がひんぱんでした。異常気象ともいわれています。テレビで見られる被害の状況を前に茫然としている人の姿は何とも痛々しい。

雨カッパに身を包んで倒れた稲を手作業で起こしている姿を見ると頭が下がる思いがします。ましてや高齢者家族が多くなっています。今年の稲のできは良いという人がいますが、さすがさままのようです。みなさんのところはいかがでしょうか。

9月下旬の稲がまだ刈られずに残っているとこれからどうなるのだろうと案ずる心はたらくのはわたしだけでしょうか。

藤咲美沙子 記



議会広報委員会
委員長 関 誠一郎
副委員長 藤 美一
委員 阿 桐 健一
阿 久 原 大
河 井 津 大
河 原 大
片 岡 藏

片岡藏
河原大
阿久原大
阿桐健一
藤美一
関誠一郎